

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	①インターネット利用状況 ②総合コールセンター ③生物多様性
調査期間	平成 29 年 3 月 29 日～4 月 11 日
設問数	全 13 問（分岐設問のぞく）
対象モニター数	2,936 名
回答モニター数	2,342 名（回答率 79.8%）

【調査結果概要】

①インターネット利用状況について P2～

9 割以上の方が、インターネットを毎日利用されていることが分かりました。また、使用機器については、スマートフォンからのアクセスが最も高くなっています。利用目的についても引き続き、幅広い目的で活用されていることが分かりました。

②総合コールセンターについて P5～

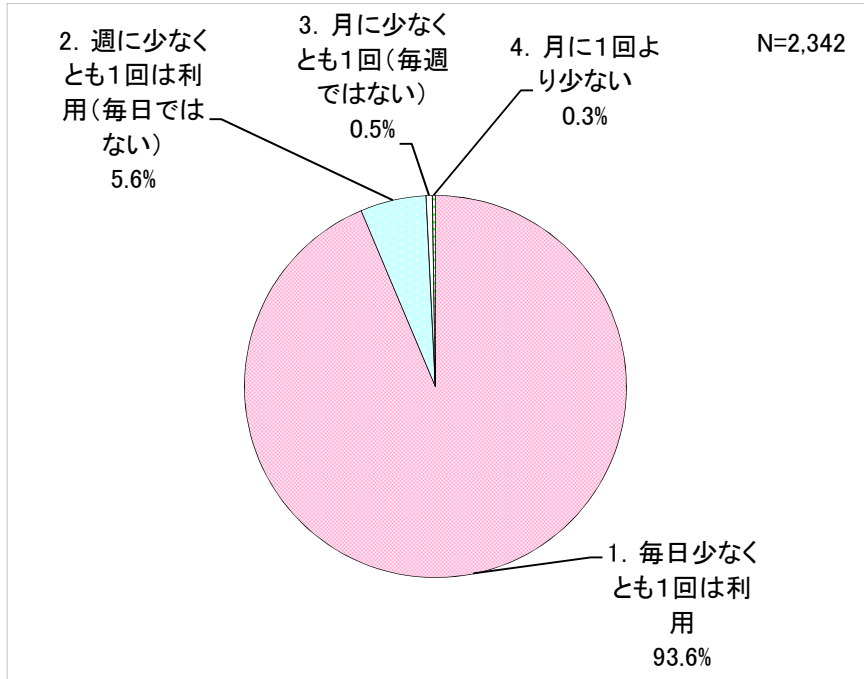
コールセンターを知っている方の割合は、3 割程度にとどまっています。これからも様々な媒体を通じて周知・広報に取り組み、みなさまのお役に立てるコールセンターになるように努めてまいります。

③神戸の生物多様性を守る活動について P8～

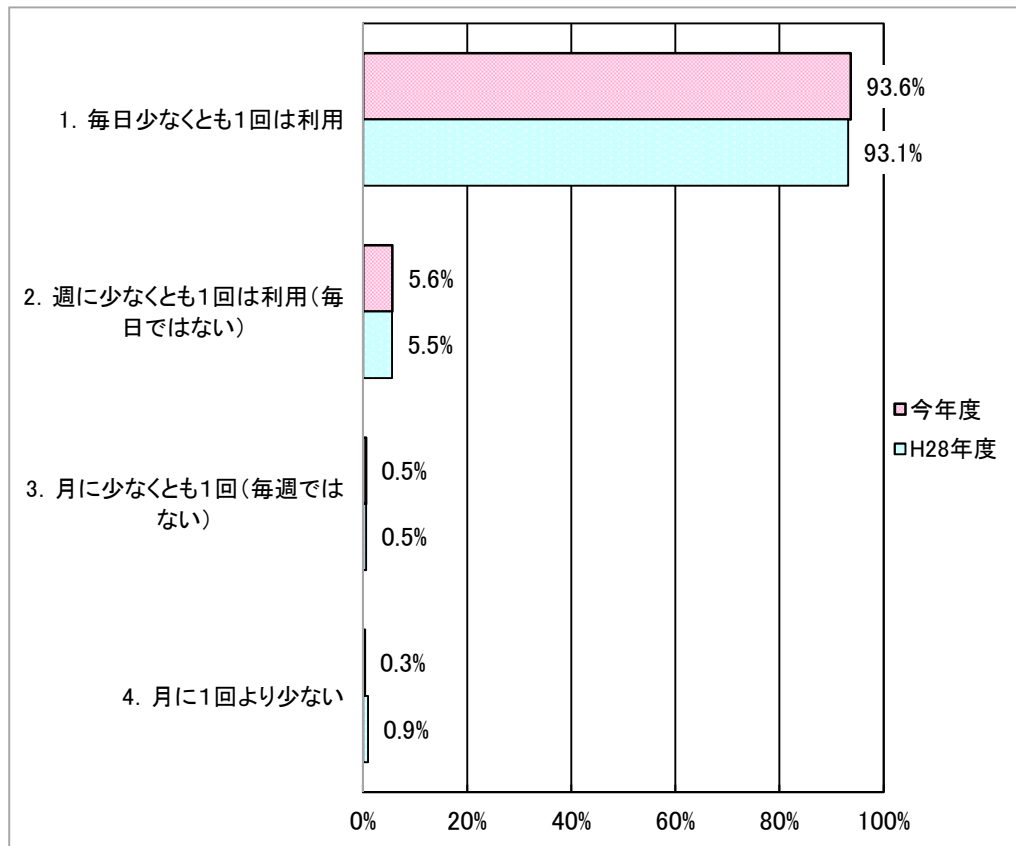
神戸市は、大都市でありながら六甲山、瀬戸内海、里地・里山など多様な自然を有し、多くの生きものがつながり合って暮らしています。そのような生物多様性を守り、豊かな自然とそのめぐみを次世代に引き継ぐための取り組みを「とても重要だ」と思う方が 80.7%、生物多様性に悪影響を与えるような行為について、「行政が条例等により規制・禁止すべきだ」と思う方が 96.8%と多数を占めました。お寄せ頂いた多くの貴重なご意見を参考に、自然共生都市”こうべ”を目指して、市民・事業者のみなさまのご協力もいただきながら、新たな施策に取り組んでまいります。

①インターネット利用状況について

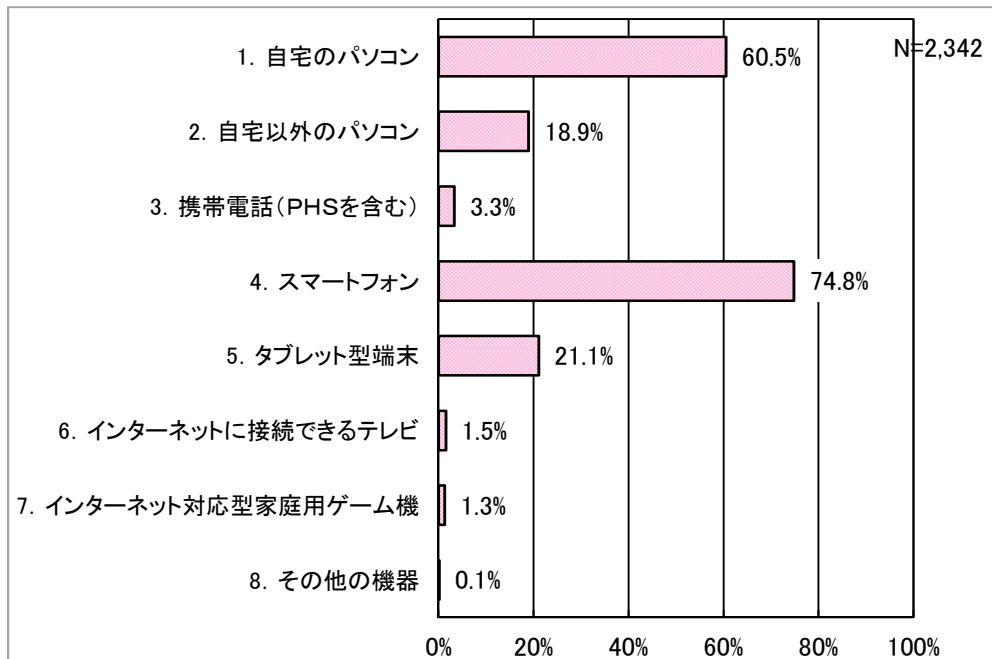
問1 あなたは、インターネットをどのくらいの頻度で利用していますか。



問1 (前年度との比較)



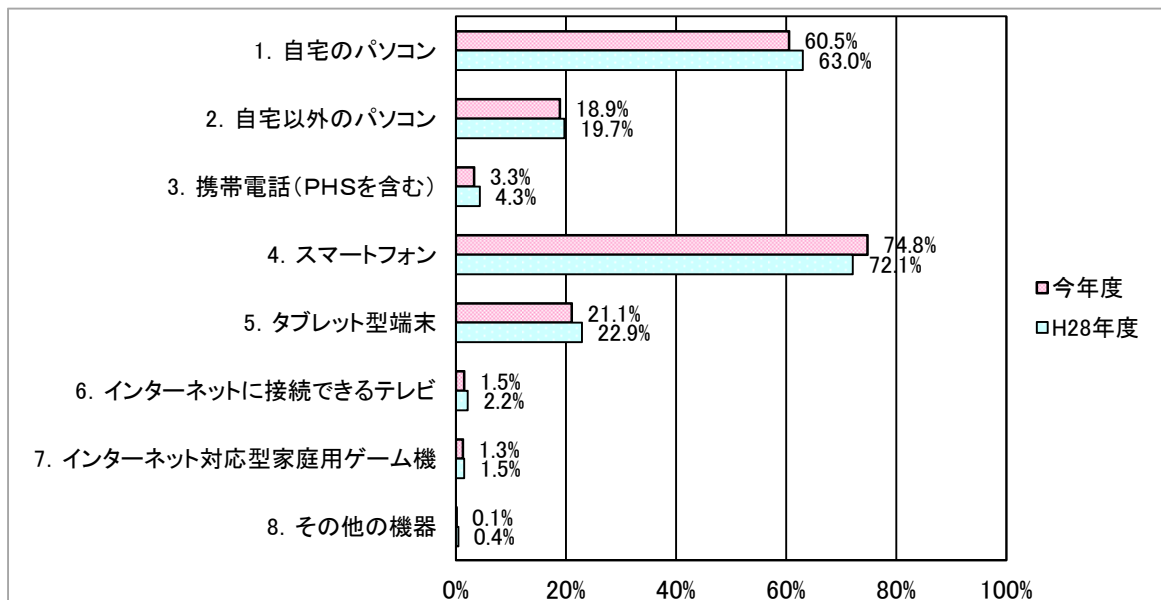
問2 インターネットを利用するとき、使用している通信機器は何ですか。



「8. その他」

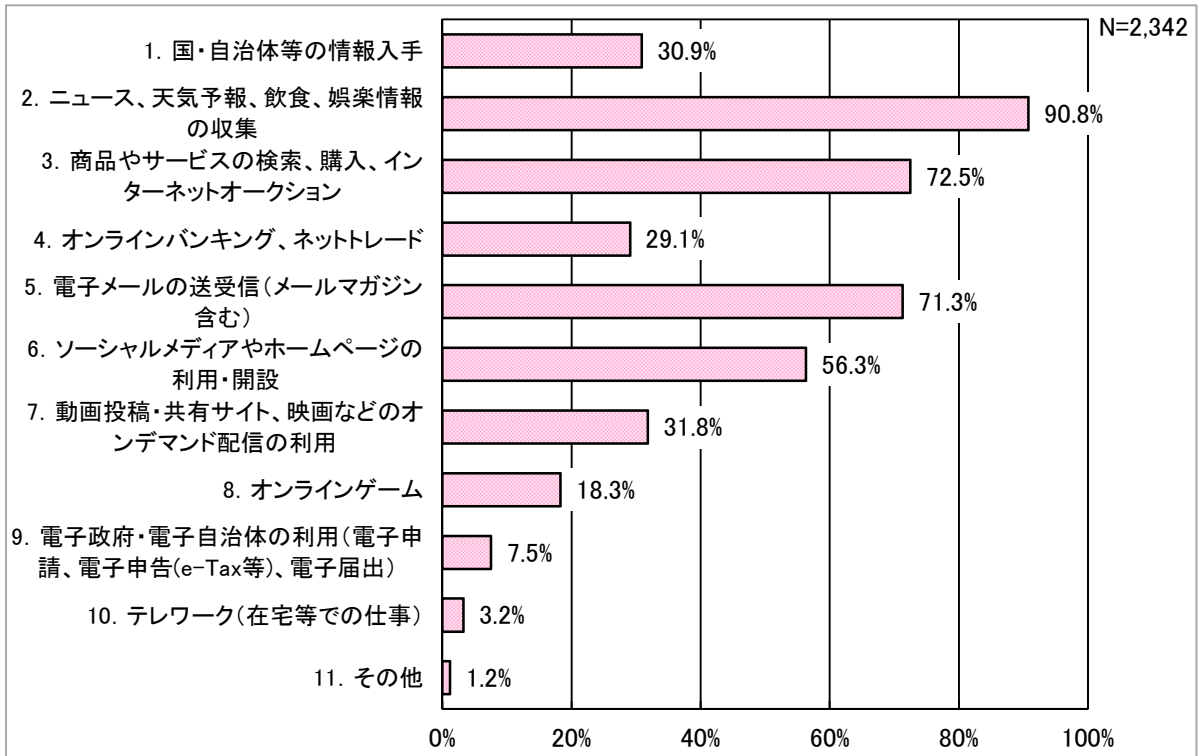
・携帯型音楽プレイヤー など

問2 (前年度との比較)



問3

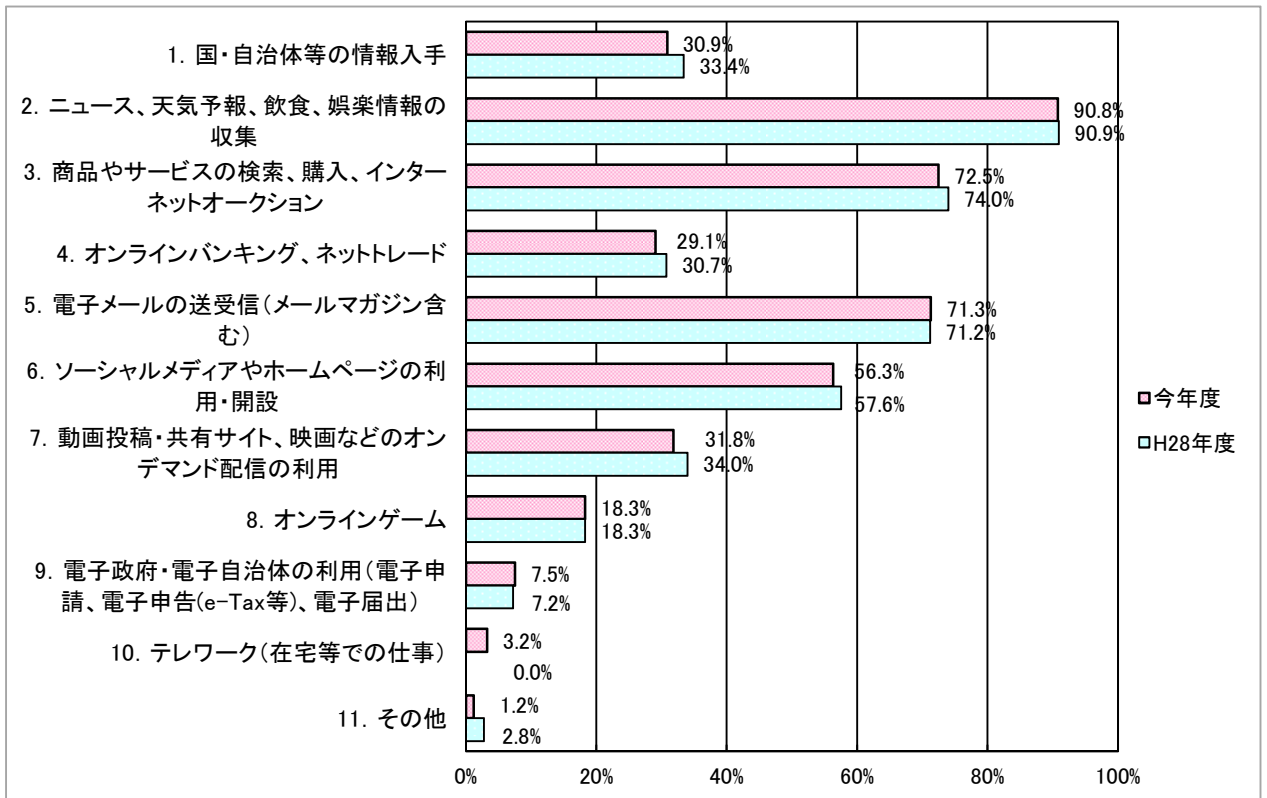
インターネットの機能・サービスについて、どのような目的・用途で利用していますか。



「11. その他」

・図書館ホームページでの本の検索・予約 ・地図情報によるナビゲーション利用 など

問3 (前年度との比較)

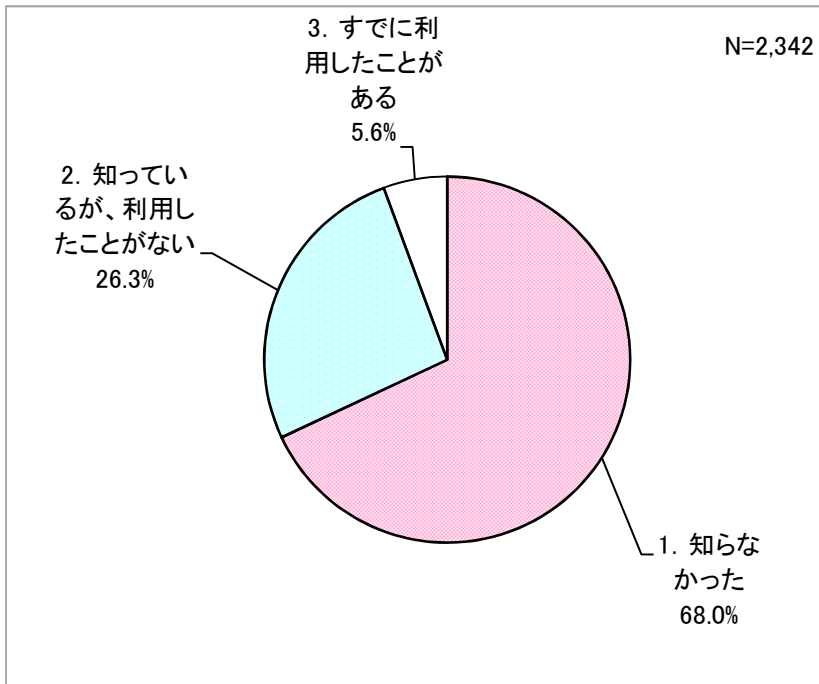


②総合コールセンターについて

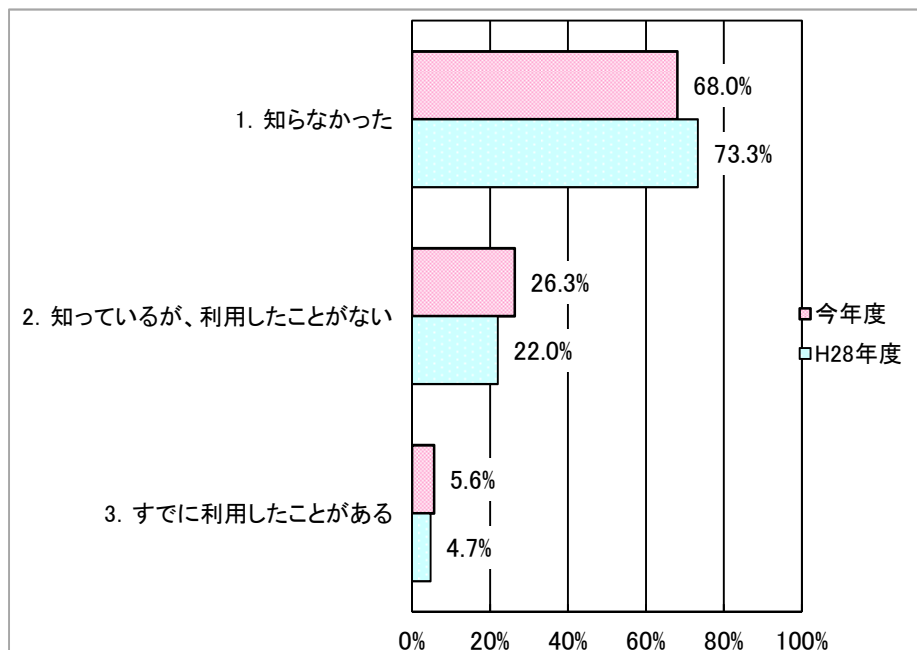
問4 あなたは、神戸市総合コールセンターを知っていますか。

※神戸市総合コールセンター（以下「総合コールセンター」）

8時～21時まで年中無休で、電話・FAX・電子メールによる市民の皆様からの市政全般に関するお問い合わせに対応しています。



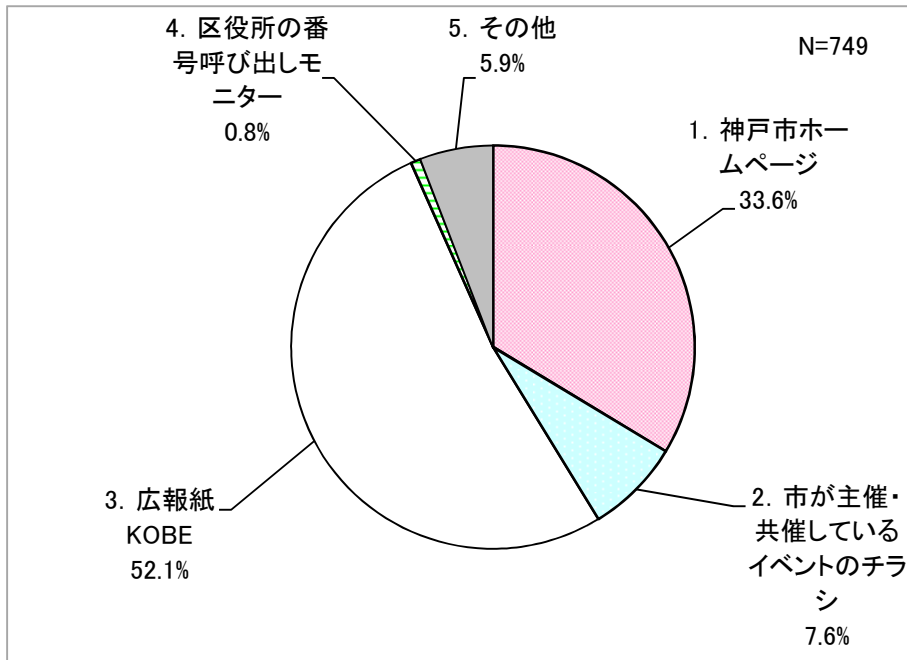
問4 (前年度との比較)



<総合コールセンターを知っている方>

問4-1 (回答対象者必須)

何をご覧になって、総合コールセンターを知りましたか。

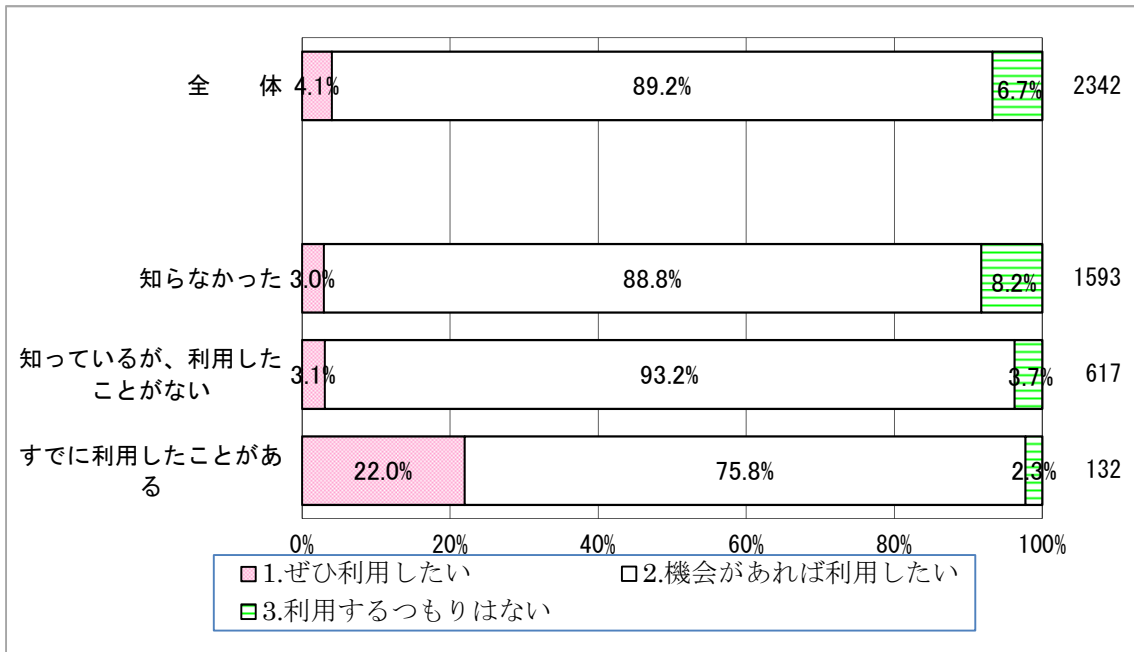


「5. その他」

- ・公共交通機関内の広告
- ・コールセンターPR用マグネット など

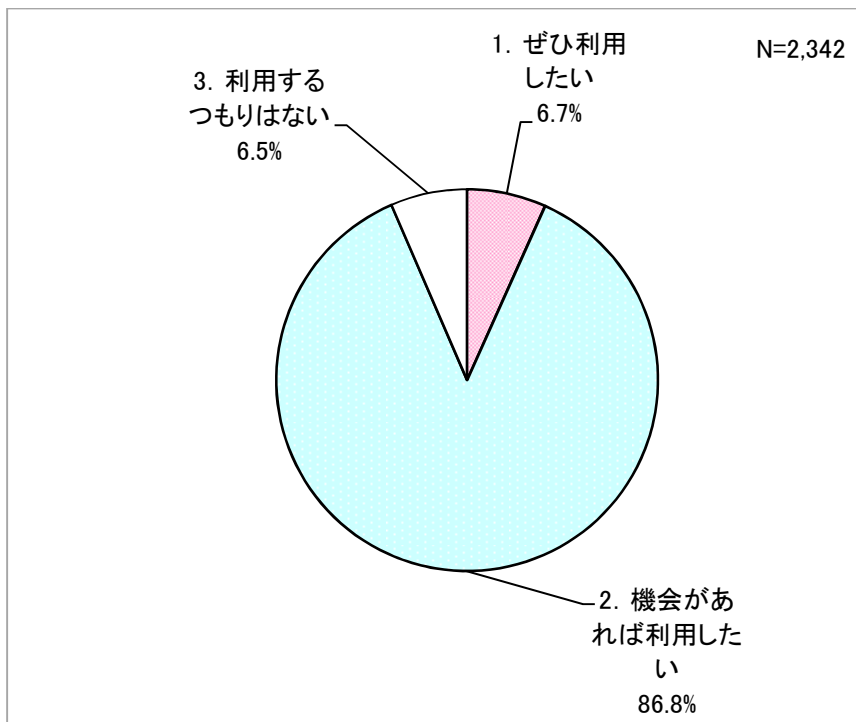
問5

今後（も）、総合コールセンターを利用したいと思いますか。



問6

総合コールセンターのホームページにある「よくある質問と回答（FAQ）」を、今後（も）、利用したいと思いますか。



<よくある質問と回答（FAQ）>

「神戸市総合コールセンター」のホームページから「よくある質問と回答（FAQ）」を検索できます。

③神戸の生物多様性を守る活動について

平成 28 年 9 月に実施した「生きものと共生できる都市をめざして」アンケートでは、「生物多様性」の言葉の認知度や神戸の自然に対する意識についてお伺いしました。

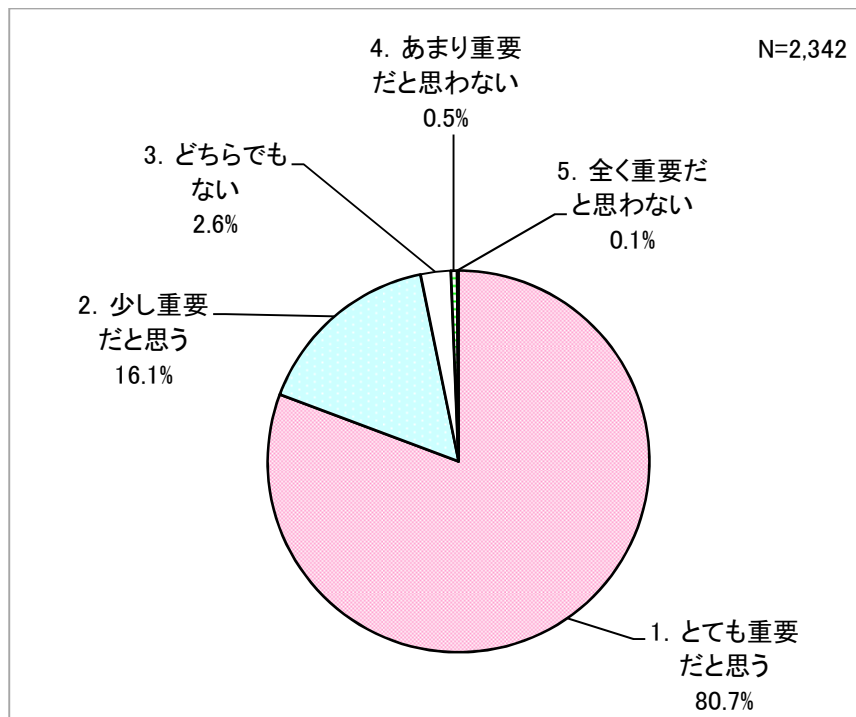
今回は、生物多様性（※1）を守り、豊かな自然とそのめぐみ（※2）を次世代に引き継ぐためにどのような取り組みができるのかを調査し、必要な施策を検討する上での参考とさせていただきます。

（※1）生物多様性とはこの地球上には、森、川、海、里地などの多種多様な自然があり、それぞれの自然環境に適応して進化した多くの生きものたちが、互いに複雑につながりあい、支えあって暮らしています。いろんな環境があつて、いろんな生きものが暮らしていることが大切で、これを「生物多様性」といいます。

（※2）神戸市は、大都市でありながら六甲山、瀬戸内海、里地・里山など非常に豊かな自然を有しており、7000 種を超える非常に多種多様な動植物が確認されています。それらが互いにつながりあい、支え合いながら生息・生育し、私たちはこの生態系から、食料、薬、空気、防災機能などさまざまな自然の恵みを受けています。

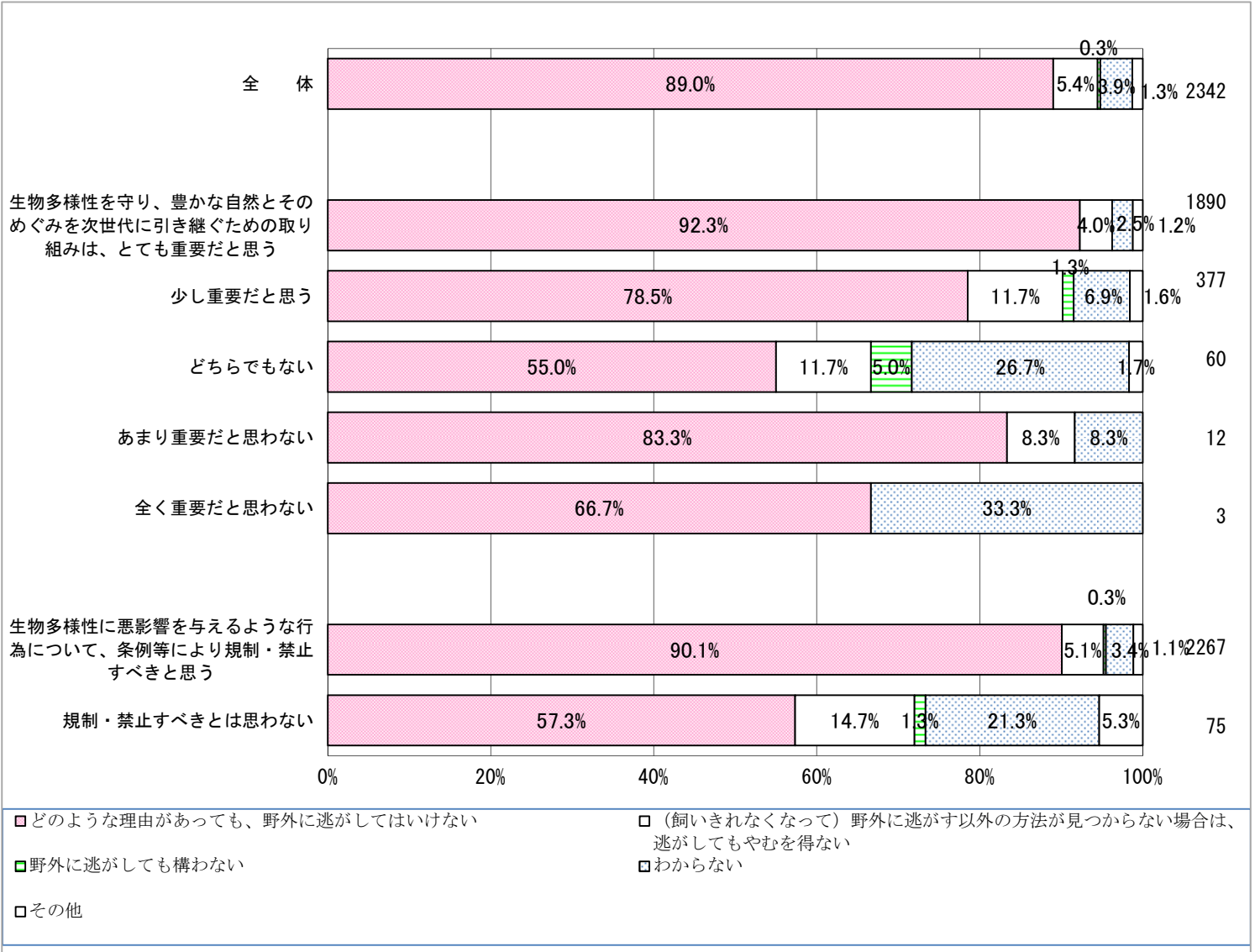
問 7

生物多様性を守り、豊かな自然とそのめぐみを次世代に引き継ぐための取り組みは、重要だと思いますか。



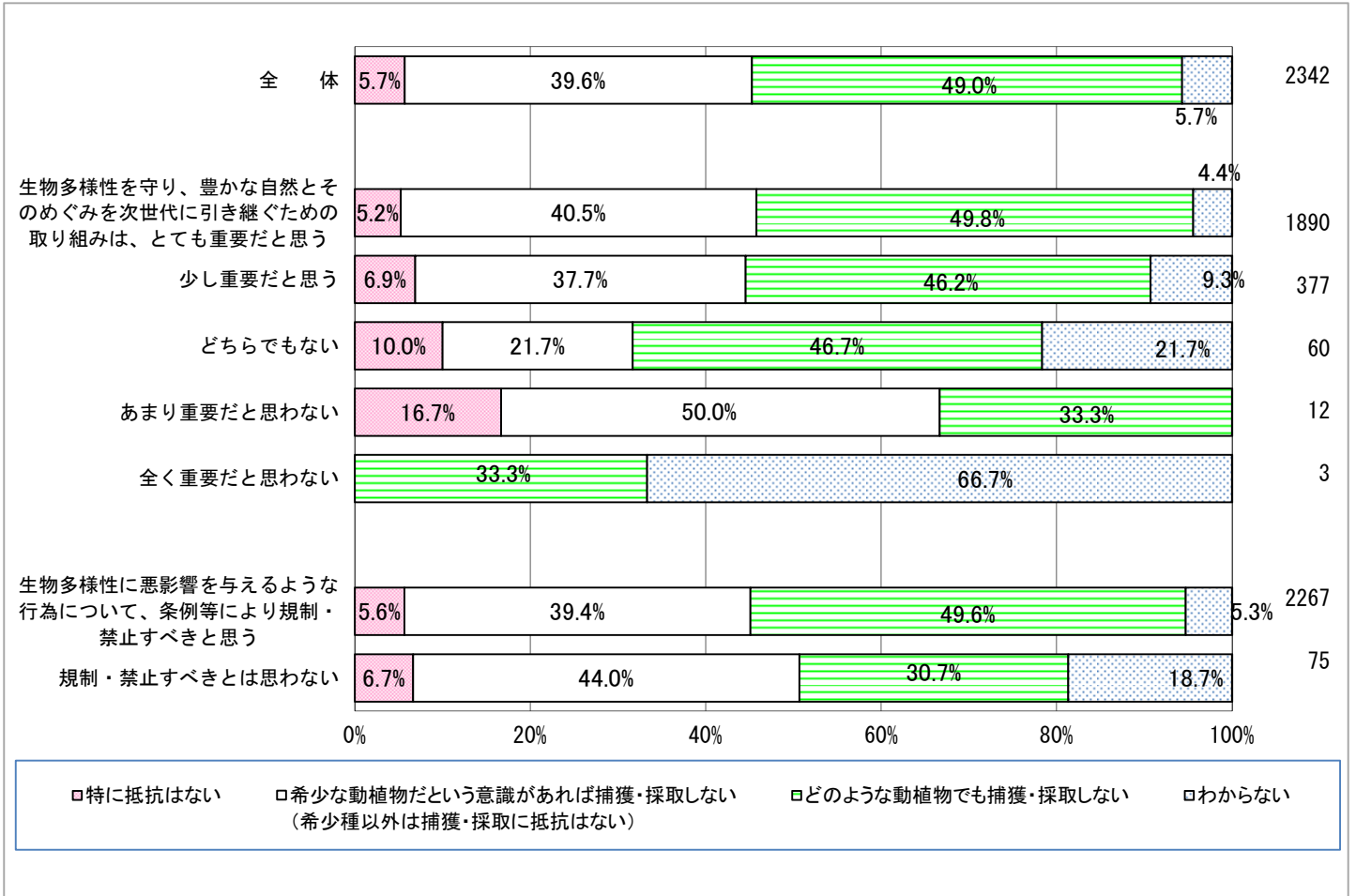
問 8

神戸市には、アカミミガメのようにもともとペットとして飼っていた生きものを、飼いきれなくなって野外へ放してしまったり、アライグマのように飼育施設から逃げ出したりしたことで、大繁殖してしまい、本来の生態系に悪影響を及ぼしている地域が多々あります。あなたは、飼っている生きものを最後まで飼わず、野外に逃がすことをどう思いますか。



問9

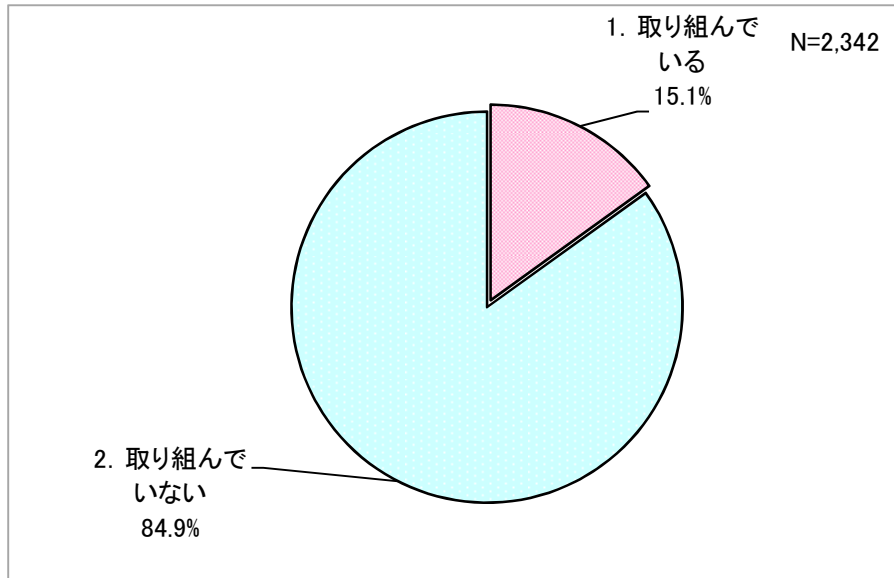
あなたは自然の中で、珍しい（あまり見かけない）または綺麗だと思う植物や昆虫、魚類などの動植物を発見した場合、捕獲・採取することに抵抗はありますか。



問10

あなたは地域（市内に限らない）で、現在、自然や生きものを守る活動に取り組んでいますか。

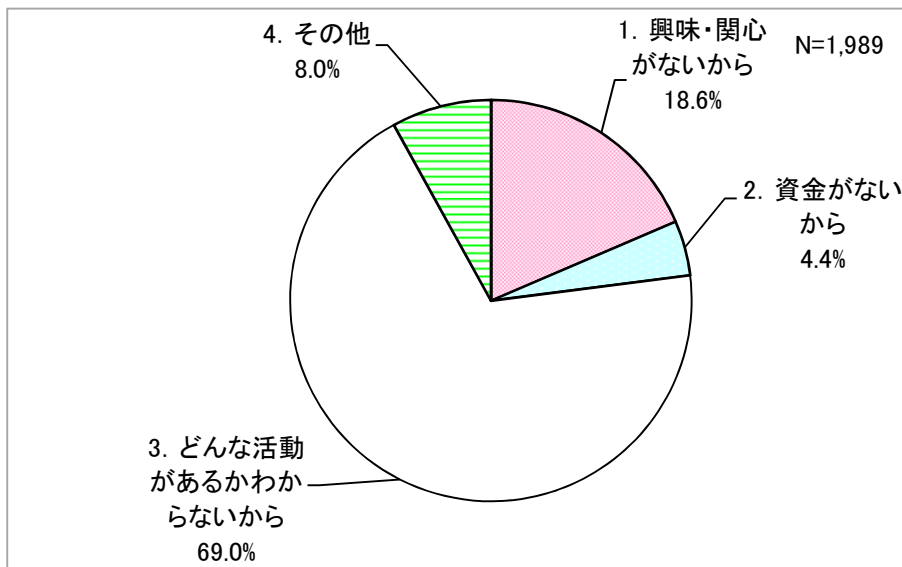
（例：外来種の防除、希少種の保全、森林の手入れ、海岸・川・公園等の清掃活動など）



<自然や生きものを守る活動に取り組んでいない方>

問10-1

取り組んでいない主な理由は何ですか。

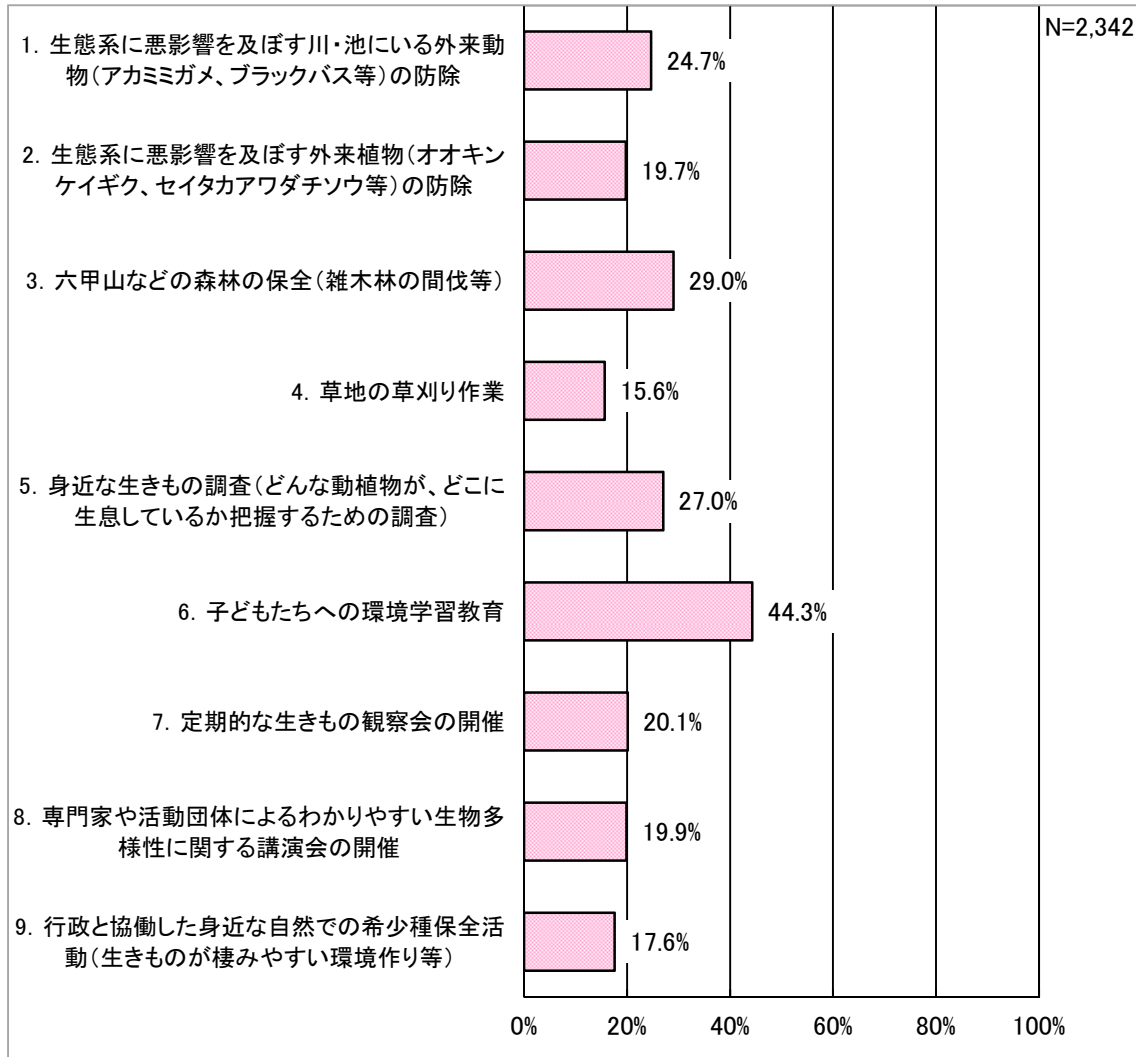


「4. その他」

- ・ 仕事、育児、介護などで忙しく、活動の時間がとれない。
- ・ 健康面、体力面に不安があり、活動に参加できない。 など

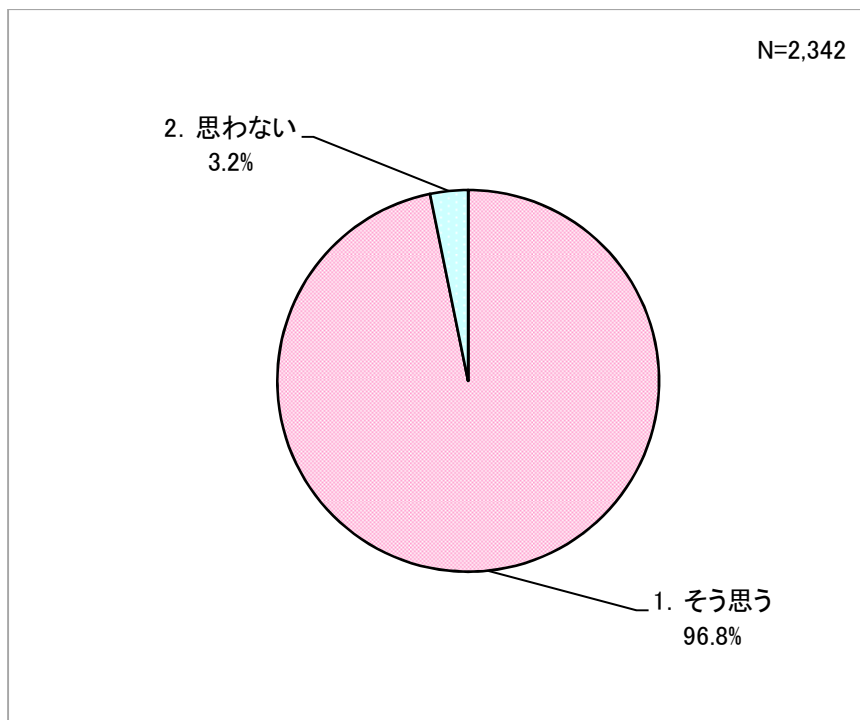
問 1 1

神戸市では、みなさんと一緒に、さまざまな生物多様性に関する取り組みをしたいと考えています。どのような活動なら参加したい、または関心がありますか。次のうち3つ以内でお答えください。



問 1 2

あなたは生物多様性に悪影響を与えるような行為について、行政が条例等により規制・禁止すべきだと思いますか。



問 1 3

生物多様性を守り、豊かな自然とそのめぐみを次世代に引き継ぐための取り組みに関するご意見等があれば、ご入力ください。(特にない場合は、入力不要です)

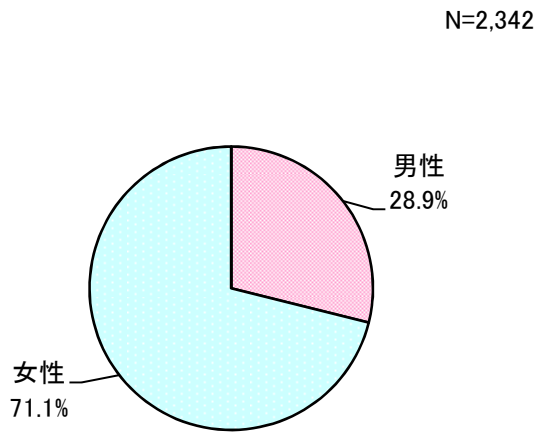
- ・小さな子供連れの家族でも気軽に参加できる野外活動があったら、自然や生き物のことを親子で学びたいと思います。
- ・私はこのモニターによってこのような環境問題を意識する事ができました。一般の方にも意識してもらえるよう土台づくりが大切かと思えます。
- ・子供達へ、外来生物や有害な外来植物などを教えることは大切だと思います。
- ・行政としては、ペット業界への規制や取り締まり等や購入時の管理などを欧米並みにきちんと整備すべき。自然の保護や管理は、方法として持続可能かつ上手く教育や地域を巻き込む形が理想的。
- ・自分が住む地域への愛着と、地域の自然を守るためには外来生物などへの知識が必要なので、そのための啓蒙活動が必要ではないかと思われます。
- ・豊かな自然を守る取り組みには行政も積極的関与し、規制の必要な事項は早急に制定し、市民の活動に支援をして欲しい。
- ・子供と「もりのようちえん」に参加していますが、私自身が都市部で育った為、新鮮な体験が多く、学ぶことが多いです。都市部に住む子供の自然体験の大切さを感じます。イベントとしてではなく、継続的に自然と触れる事により、身をもって感じられる事があると思います。現状は、個人団体が行っている事が多く、アンテナをはっていないと

みつきりません。市内でその様な体験が出来る場所がもっと増える様、行政の後押しがあると環境も変わるように思います。

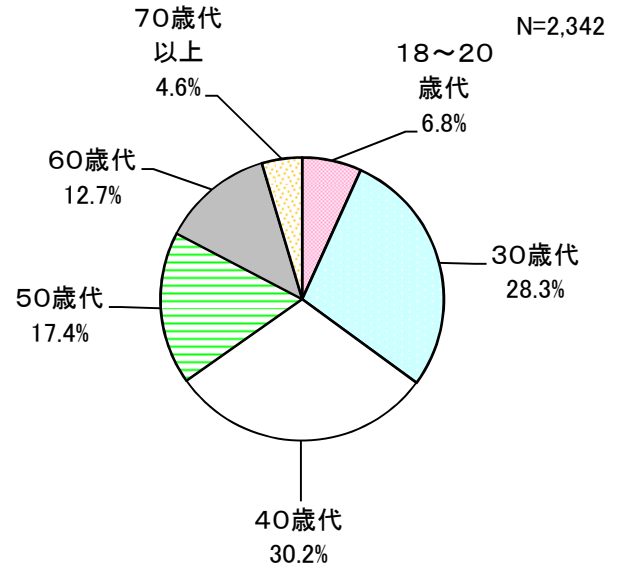
- ・希少種の保護のためにも里山の管理が多様性の保全には欠かせないので守っていく責任があると思います。
- ・六甲山や西区・北区の里山・農地・水辺などの豊かな自然をフィールドにした観察・学習・駆除活動などの充実が望まれる。
- ・野に放つと繁殖し、生態系を壊す可能性のあるペットは入手段階で周知するなど、地道な活動も必要だと思います
- ・市民一人一人が正しい知識を持てるように学習する機会が必要だと思う。幼い頃から自然を愛でる気持ちを持つために、自然に関わり、自然の中で過ごす経験も必要だと思う。

全 589 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

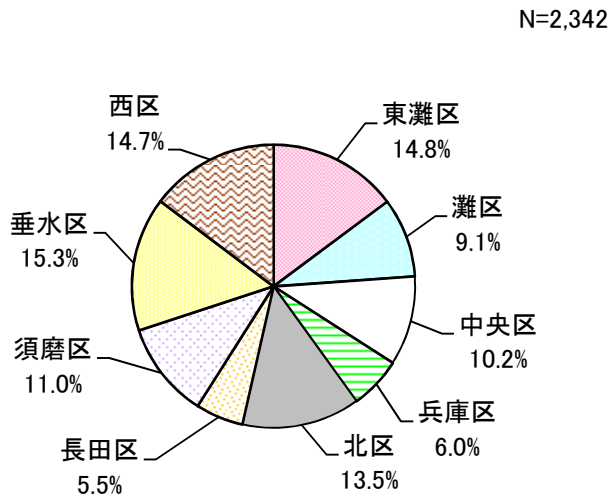
【性別】



【年代】



【居住区】



【職業】

